

沿線風景



井の頭恩賜公園

武蔵野の面影を残し、四季折々の美しさを楽しむ井の頭恩賜公園は、1917年(大正6年)に日本で最初の郊外公園として開園しました。井の頭線井の頭公園駅に隣接し、約38万平方メートルという広大な敷地の公園です。

公園の中央に位置する「井の頭池」は、ボートに乗ることもできる池ですが、初めて江戸に引かれた水道「神田上水」の水源で、意外と知られていませんが、神田川の源流でもあります。

公園内にはさまざまな樹木があり、自然の魅力を満喫しながら、四季折々の違った雰囲気を感じられ、楽しみながらのんびりと園内を散策することができます。また、隣接する井の頭自然文化園には、遷層を迎えたゾウのはな子がいる動物園もありますので、ご家族やお友達とお出かけになってはいかがでしょうか。

- 【交通】井の頭線井の頭公園駅下車徒歩1分
または吉祥寺駅下車徒歩5分
- 【お問合せ】公園管理所 0422-47-6900
井の頭自然文化園
- 【入園料】大人400円(65歳以上200円)、中学生150円
(小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料)
- 【開園時間】9:30～17:00(入園は16:00まで)
- 【休園日】月曜日休園(祝日の場合は翌日)
- 【お問合せ】井の頭自然文化園管理事務所 0422-46-1100



表紙の言葉

表紙は、都民のオアシスとして親しまれる高尾山と都心を結ぶ唯一の路線として知られる高尾線の高尾～高尾山口間を走行する京王線9000系車両と、本年3月に完成した子育て支援マンション「京王安フィール高幡」です。

京王線9000系車両は、車いすスペースをはじめ、一部の車両には、乗降用ドア車内側上部に液晶画面を用いた「案内表示器」を搭載するなど各種バリアフリー設備を装備し、省エネルギー化が図られた車両です。

「京王安フィール高幡」は高幡不動駅前で建設を進めていた、住居にも子育てしやすい機能やデザインを取り入れた子育て支援マンションで、東京都認証保育所「京王キッズプラッツ高幡」などの子育て支援施設を併設しています。

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 6月
3. 基準日 定時株主総会 3月31日
(株主確定日) 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
4. 公告の方法 当社ホームページに掲載します
(www.keio.co.jp/kigyo/ir/koukoku.html)
5. 株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行証券代行部

電話照会先 住所変更等
用紙のご請求 ☎0120-175-417
その他のご照会 ☎0120-176-417

けいおう

INVESTOR'S GUIDE

2007年度決算報告
2007.4.1～2008.3.31

2008年度経営計画を中心に



けいおう

INVESTOR'S GUIDE
2008年6月発行

【お問合せ】広報部 [京王ホームページ]
☎042-337-3106 www.keio.co.jp/

発行/京王電鉄株式会社
〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1



「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、「鉄道事業の安全性の向上」と「沿線価値向上策への取り組み」に注力してまいります。

京王電鉄株式会社 代表取締役社長 加藤 真



平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当期(2007年度)の京王グループは、各事業セグメントにおいて着実な事業活動を展開しましたが、賃貸物件の建替え計画にともなう減損損失の増加などにより、連結当期純利益は181億円、京王電鉄における当期純利益は115億円となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき3円(中間配当金を含め年間6円)といたしました。次期以降につきましても、この配当水準を維持できるよう努力してまいります。

さらなる「安全の確保」と「沿線価値向上」に取り組みます

京王グループでは、「住んでもらえる、

選んでもらえる沿線」の実現に向けて、「鉄道事業における安全性と利便性の向上」と、「沿線価値向上策への取り組み」を大きな柱として、引き続き進めてまいります。

鉄道事業においては、鉄道技術基準等の法令を遵守し、法定の期限内に整備を完了させるため、自動列車制御装置(ATC)の導入工事や地下駅火災対策、駅や車両のバリアフリー化工事を推進するとともに、調布駅付近連続立体交差事業を継続して進めるなど積極的な投資を行ってまいります。特に「安全の確保」は最重要課題と位置付け、引き続き「運輸安全マネジメント」を推進するとともに、安全性向上のために対前年14%増の433億円を投資してまいります。

また、当社沿線が将来にわたって活力を維持できるよう、「沿線価値向上」に向けて、引き続き取り組んでまいります。沿線の核拠点開発、生活サポートサービスの展開や子育て支援事業の推進など沿線を活性化させる取り組みや、沿線の魅力を高める施策を実施してまいります。

さらに、コーポレート・ガバナンスの一層の充実や地球環境への配慮など、企業としての社会的責任を果たし、京王グループに対する信頼を高めてまいります。

今後もこれらの施策を積極的に進めることで、「信頼のトップブランド」の確立を目指してまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年6月

【2008年度重点施策】

1 鉄道事業における安全性と利便性向上策の継続

1. 積極的な安全への取り組み

運輸安全マネジメントの推進

- ・「より一層の安全」の実現に向けて、安全確保に関するPDCAサイクルを機能させ、事故の未然防止策を講じるなど、引き続き運輸安全マネジメントを推進します
- ・安全確保等に関する社員の資質を維持向上するため、実際の現場と同様の設備を備えた鉄道教習所を活



運転シミュレータを使用した訓練の様子

用した教育を実施します

立体交差化の推進

- ・調布駅付近連続立体交差事業の2012年度の完成を目指し、駅部の掘削工事を引き続き進めるとともに、シールドマシン(トンネル掘削機)によるトンネル掘進を開始します



組み立てを完了したシールドマシン

- ・笹塚以西の鉄道立体化については、代田橋駅～八幡山駅付近連続立体交差事業の認可・着手に向け、事業主体である東京都とともに都市計画変更手続きや環境影響評価のための調査設計を行います

鉄道技術基準適合策の推進

- ・信号システムのATC化の2010年度の完成を目指し、相模原線における地上設備の設置を完了するとともに、引き続き車両の改造等を進めます

自動列車制御装置(ATC)車両に搭載しているコンピューターが曲線など線路状況に見合った適切な速度に列車を制御します。

駅施設・高架橋などの災害対策

- ・京王線新宿駅における排煙設備や、幡ヶ谷駅における緊急避難通路を完成させ、地下駅火災対策を完了します
- ・構造物の耐震性向上策を推進するため、吉祥寺駅高架橋の改築について既設構造物撤去のための線路仮受けを実施します

車両の新造

- ・老朽化した車両の代替として、京王線9000系車両60両、井の頭線1000系車両25両を新造します



京王線9000系車両

2. サービス・利便性の向上(バリアフリー化の推進等)

- ・バリアフリー設備や自由通路、商業ス



橋上駅舎化工事中の桜上水駅

ペースを備えた桜上水駅の橋上駅舎化を完了します

・百草園駅・永福町駅などで橋上駅舎化工事に着手します

・京王片倉駅・山田駅・高尾駅にエレベーターを設置します

・目の不自由なお客様に駅施設の配置などをお知らせする音声・音響案内設備を順次設置します

・車両の新造・改造により、フルカラー液晶画面等を用いた車内案内表示器やドアの開閉をお知らせするチャイムを備えた車両を137両増備します
・幡ヶ谷駅の冷房設備の設置を完了します

エレベーター等の設置による段差解消について、原則として2010年度の全69駅完了を目指しており、2008年度末には整備率80%、1日平均乗降人員5,000人

上の65駅に対する整備率は78%となる予定です

車両のバリアフリー化について、2010年度の新車両完了を目指しており、2008年度末には、在籍車両に対する整備率は80%となる予定です

3. 環境対策 (省エネルギー化の推進)

・車両の新造・改造により、エネルギー効率の良いVVVFインバータ制御器を搭載する車両を117両増備します

VVVFインバータ制御器

架線に流れる直流を交流に変換し、列車の加速力や速度に応じて電圧や周波数を変化させながら交流モーターを動かす装置です。これにより、既存の制御器と比べて約30%の消費電力削減が期待できます。

車両のVVVFインバータ化について、2010年度の新車両完了を目指しており、2008年度末には在籍車両に対する整備率は78%となる予定です

2

沿線価値向上策への取り組み

1. 沿線活性化策の推進

核拠点開発に向けた取り組み

・京王吉祥寺駅ビルの2010年度の建

替え工事着手に向け、新ビルの基本設計および施工計画を策定します

・聖蹟桜ヶ丘地区では、商業施設開発を推進するとともに、これと連動した高架下活用計画や未利用地の店舗化計画を策定し、街全体の活性化を図ります



聖蹟桜ヶ丘地区の新規開発イメージ

・新宿地区、笹塚地区などの沿線拠点において、将来構想の検討を進めます

開発メニューの開拓・展開

・多摩エリアにおける「学生マンション事業」に着手するとともに、府中以東における「企業向け独身寮事業」の検討を進めます。また、フードテーマパーク事業を検討します

・「移住・住みかえ支援機構(JTI)」を活用した取り組みを継続します

JTI

移住や住みかえを検討しているシニア世代(50歳以上)の方々からマイホームを借り上げて賃料保証を行い、そのマイホームを子育て世代などへ転貸を行うための非営利法人です。

・京王小滝橋マンション、Hi-ROOMS 明大前・神泉など住居系賃貸物件の供給を進めます

新規ビジネスプランの実行

・中食事業、シニアレジデンス事業について、事業化を検討し、沿線での展開を目指します

生活サポートサービスの展開

・新たに事業化した家事代行「ホームほっとサービス」の展開や、住まいのメンテナンス事業のサービス提供エリア拡大などにより、沿線での生活利便性向上に寄与します

・潜在的な顧客ニーズにワンストップで対応する仕組みを構築し、グループのビジネスチャンス拡大につなげます
子育て支援事業の推進

・今春開園した「京王キッズプラッツ」多摩川および高幡では、安心・快適な子育て環境を整備します

・世田谷区から運営を受託した「子育てステーション烏山」において、2008年9月から「京王キッズプラッツ烏山」



京王キッズプラッツ多摩川

を開設するとともに、沿線における保育所設置等について自治体と協議を進めます

沿線コミュニティサイト「街はぴ」の充実

・コンテンツの充実により沿線の魅力的な情報を発信します

2. グループ事業競争力の強化

生活関連事業の強化

・食品スーパー業の拡充を中心に強化を図るほか、駅周辺事業の収益力向上を目指し、駅スペースの有効活用など各種施策を検討します

沿線内外における事業の拡大

・京王電鉄バスグループでは、安全運行の質的向上や路線移管による効率化を進める一方、新規路線開拓な

どにより顧客増を図ります

・京王百貨店では、新商品情報・顧客情報システムの活用による全社CRM推進体制を確立し、効果的な販促やサービスを提供することで、顧客満足度を高めます

CRM

顧客関係管理、顧客情報管理(Customer Relationship Management)。企業が顧客と長期的な関係を築き、顧客満足度を向上させるためのマーケティング手法です。

・京王プラザホテル(新宿)では、コンコードボールルーム改装工事を実施し、機能性・商品力を高めます

・京王プレッソインでは、5月に五反田店を開業させるとともに、来春開業予定の池袋店、来夏開業予定の九段



京王プレッソイン九段下(完成予想図)

下店(8号店)の開業準備を進めます。
また、チェーン拡大に向け新規店舗
を開拓します

京王プレッソイン五反田は本年5月18日にオープンしました。

- ・京王書籍販売(啓文堂書店)、京王食品(ベーカリー ルパ)などでは、沿線内外で新規出店を進めます
グループカード戦略の展開
- ・「PASMO電子マネー」サービスについて、駅売店「A LoT」や「カレーショップC&C」、沿線商店街などグループ内外への拡大を推進します
- ・「京王グループ共通ポイントサービス」について、ポイント制度の見直し・システム改修を実施します

3

経営体制を支える 基盤整備

1. 財務報告に係る内部統制の有効性評価への対応

- ・適切な整備・運用状況の評価を行うとともに、継続して運用できる体制を整備します

2. 人材の確保と育成

- ・グループ合同就職説明会の開催や、グループ独身寮の建設、社宅の再編成を実施するなど、人材確保に努めます
- ・研修カリキュラムの充実、実施を進め優れた実務能力を備えた人材を育成します

3. グループIT環境・体制の整備

- ・情報セキュリティや災害対策等のITに関するリスク対策を強化します
- ・グループIT環境構築の検討を推進します

4. 企業の社会的責任への取り組み

- ・首都直下地震や新型インフルエンザ等の発生を想定した事業継続計画(BCP)を策定します
- ・グループの運輸業各社において、「運輸安全マネジメント」を着実に実施します

連結利益計画

(単位:億円)

	2007年度 実績	2008年度 計画
連結営業収益	4,291	4,280
連結当期純利益	181	162
連結EBITDA	723	671

連結設備投資額(セグメント別)

(単位:億円)

	2007年度 実績	2008年度 計画
運輸業	500	605
流通業	34	53
不動産業	71	131
レジャー・サービス業	49	66
その他	10	6
(連結修正)	8	7
合計	657	857

鉄道事業投資額

(単位:億円)

	2007年度 実績	2008年度 計画
安全性向上	380	433
サービス向上	66	100
環境対策・その他	11	15
合計	458	549

TOPICS 1 総合高速検測車を京王線に導入し、安全性と乗り心地の向上を図ります



総合高速検測車

実際の電車と同じ速度で走行しながら架線と軌道(レール)を同時に検査することができる総合高速検測車を京王線に導入し、本年4月から検査を開始しました。

これまで、架線と軌道の検査は主に終電後の限られた時間で実施していましたが、総合高速検測車は日中に営業電車の合間に検査することができるため、検査回数を増

やすことが可能になります。

また、これまで架線と軌道を別々に検査していたものをこの検測車に集約することで、効率化が図られるほか、特殊な検査機器を用いてミリ単位で検査することができます。検査で得られたデータを保守計画に反映し、さらなる安全性・乗り心地の向上を図ります。

TOPICS 2 子育て支援マンション「京王アンフィール高幡」が完成し、「京王キッズプラッツ高幡」を開設



京王キッズプラッツ高幡

高幡不動駅前前で建設を進めていた、子育て支援マンション「京王アンフィール高幡」が本年3月に完成しました。

これは、東京都認証保育所「京王キッズプラッツ高幡」や「日野市立子ども家庭支援センター」幼児教室「京王キッズプラッツネクスト高幡」などの子育て支援施設を併設しているのはじめ、住居にも子育ての

しやすい機能やデザインを取り入れた賃貸マンションです。

「京王キッズプラッツ高幡」は、本年3月開設した東京都認証保育所「京王キッズプラッツ多摩川」に続く京王グループの直営保育所の2施設目として4月に開設しました。なお、両施設の運営は「京王子育てサポート」が行っています。

TOPICS 3 「PASMO電子マネー」サービスを、京王沿線の駅売店や商業施設などで開始



京王線・井の頭線沿線の店舗で「PASMO電子マネー」が使用可能に

本年3月15日から、小銭を使わずにICカード乗車券「PASMO」を利用して商品やサービスの代金を支払うことができる「PASMO電子マネー」サービスを開始しました。

このサービスは京王線・井の頭線主要駅を中心とした駅構内や駅周辺の京王グループ店舗、飲料自動販売機などご利用いた

だけです。さらに、グループ外では、沿線の笹塚・幡ヶ谷・西原地区の商店街への展開を進め、グループ内外の約250拠点への展開を実施しました。

今後も沿線を中心に、加盟店の拡大と、さまざまな場面での電子マネーサービスの提供を拡大していきます。

2007年度財務ハイライト

決算のポイント

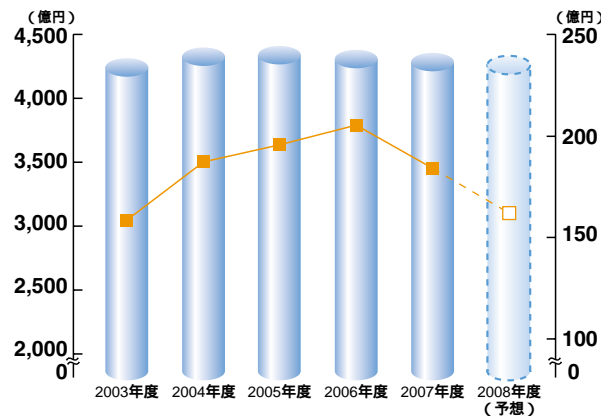
POINT ① 連結営業収益が前期並みの4,291億円となりました

運輸業、流通業などで増収となりましたが、不動産業で前期に大型物件の販売があったことなどにより減収となりました

POINT ② 連結当期純利益が181億円(前期比15.8%減)となりました

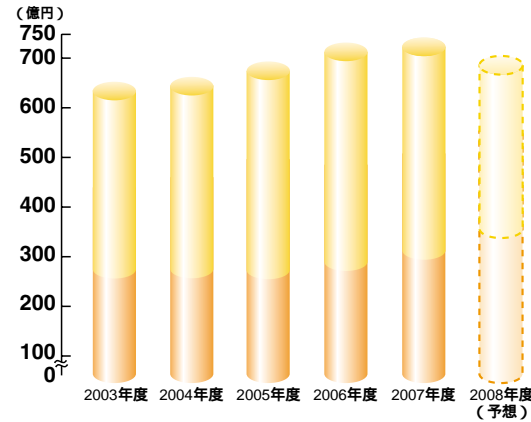
連結経常利益は前期に社債償還損の計上があったことなどにより増益となりましたが、連結当期純利益は賃貸物件の建替え計画にともなう減損損失の増加などにより、前期に比べ34億円の減益となりました

連結営業収益・連結当期純利益の推移



年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度(予想)
連結営業収益 (億円)	4,277	4,330	4,382	4,301	4,291	4,280
連結当期純利益 (億円)	153	187	198	215	181	162

連結EBITDAの推移



年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度(予想)
連結営業利益 (億円)	362	370	399	422	419	336
減価償却費 (億円)	275	275	274	290	304	335
連結EBITDA (億円)	638	646	674	713	723	671

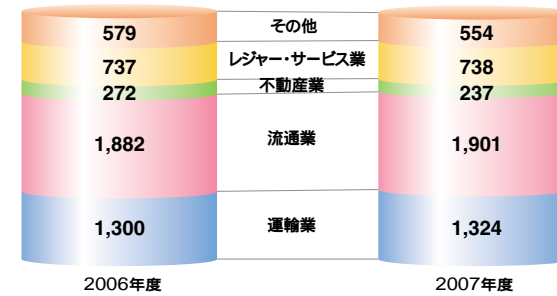
連結EBITDA = 連結営業利益 + 減価償却費(営業費計上分)
連結EBITDAは、営業活動によって得られたキャッシュ・フローを簡易的に示す指標です

2008年度の見通し

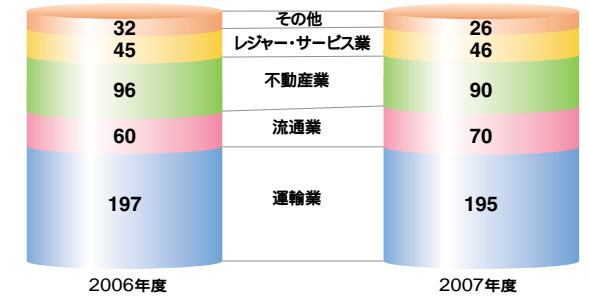
連結営業収益は4,280億円(前期比0.3%減)を見込んでおりますが、連結当期純利益は鉄道事業の設備投資増にともなう減価償却費の増加や、特定都市鉄道整備準備金の取崩し終了による特別利益の減などにより162億円(前期比10.6%減)を見込んでおります

2007年度の業績(事業セグメント別営業収益・営業利益)

事業セグメント別営業収益(億円)



事業セグメント別営業利益(億円)



運輸業

営業収益 1,324億円(+23億円)
営業利益 195億円(+2億円)

- 京王電鉄(鉄道)
- 京王電鉄バスグループ
 - 京王電鉄バス
 - 京王バス東
 - 京王バス中央
 - 京王バス南
 - 京王バス小金井
- 西東京バス
- 多摩バス
- 京王自動車
- 京王運輸
- 御岳登山鉄道

鉄道事業の輸送人員が増となったことなどにより増収となりましたが、鉄道事業などでの減価償却費等の増により減益となりました

流通業

営業収益 1,901億円(+19億円)
営業利益 70億円(+10億円)

- 京王百貨店
- 京王ストア
- 京王書籍販売
- 京王リテールサービス
- 京王電鉄ショッピングセンター
- 京王バスポートクラブ
- 京王アートマン
- 京王食品
- 京王グリーンサービス
- 京王商事
- エリート
- 京王友の会

ストア業、書籍販売業での新店のオープン、通期稼働などにより、増収増益となりました

不動産業

営業収益 237億円(34億円)
営業利益 90億円(6億円)

- 京王電鉄(開発)
- 京王不動産
- 京王地下駐車場

不動産賃貸業で増収となりましたが、不動産販売業で前期に大型物件の販売があったことにより、減収減益となりました

レジャー・サービス業

営業収益 738億円(+1億円)
営業利益 46億円(+0億円)

- 京王プラザホテル
- 京王プラザホテル札幌
- 京王プレッソイン
- 京王観光
- 京王エージェンシー
- 京王レクリエーション
- レストラン京王
- 京王コスチューム

ホテル業での増収、広告代理業での減収などにより、ほぼ前期並となりました

その他

営業収益 554億円(24億円)
営業利益 26億円(5億円)

- 京王設備サービス
- 京王重機整備
- 東京特殊車体
- 京王建設
- 京王電鉄(情報通信)
- 京王ITソリューションズ
- 京王アカウントینگ
- 京王ビジネスサポート
- 京王コース・プラザ
- 京王シンシアスタッフ
- 京王子育てサポート
- 新東京エリート

建築・土木業で完成工事が減少したことなどにより、減収減益となりました

印は、持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄が重複して含まれています

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2007年3月31日)	当 期 (2008年3月31日)
【 資 産 の 部 】		
流動資産	106,687	118,358
固定資産	541,473	541,803
資産合計	648,161	660,161
【 負 債 の 部 】		
流動負債	172,156	179,443
固定負債	227,029	236,532
特別法上の準備金	2,346	
負債合計	401,531	415,976
【 純 資 産 の 部 】		
株主資本	212,125	226,482
評価・換算差額等	34,504	17,703
純資産合計	246,629	244,185
負債純資産合計	648,161	660,161

POINT 資産合計の増加 (+12,000百万円)
投資有価証券の時価評価による減がりましたが、設備投資の進捗による有形固定資産の増などにより増加しました

POINT 負債合計の増加 (+14,444百万円)
社債の発行などにより増加しました

POINT 営業活動によって得られたキャッシュ・フローの増加 (+7,794百万円)
法人税等の支払額の減や減損損失の増などにより増加しました

POINT 投資活動に使用されたキャッシュ・フローの増加 (+13,318百万円)
有形固定資産の取得による支出の増などにより増加しました

POINT 財務活動によるキャッシュ・フローの増加 (+15,461百万円)
社債の発行などにより増加しました

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2006年度)	当 期 (2007年度)
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,086	56,881
税金等調整前当期純利益	36,702	31,239
減価償却費	29,091	31,084
減損損失	1,037	4,226
法人税等の支払額	15,882	13,679
その他	1,863	4,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46,110	△ 59,428
有形固定資産の取得による支出	49,815	67,274
その他	3,705	7,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,733	17,194
借入金・社債等の純増減額	5,544	20,966
配当金の支払額	3,706	3,705
その他	105	65
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	3
現金及び現金同等物の増減額 ⁽¹⁾	4,713	14,650
現金及び現金同等物の期首残高	38,802	43,516
現金及び現金同等物の期末残高 ⁽²⁾	43,516	58,167

(1) + + +
(2) +

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2006年度)	当 期 (2007年度)
営業収益	430,197	429,190
営業費用	387,899	387,248
営業利益	42,298	41,941
営業外収益	2,291	2,464
営業外費用	7,794	5,533
経常利益	36,795	38,872
特別利益	4,997	4,943
特別損失	5,090	12,576
税金等調整前当期純利益	36,702	31,239
法人税、住民税及び事業税	13,668	16,814
法人税等調整額	1,494	3,704
当期純利益	21,539	18,129

(備考)記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています

連結株主資本等変動計算書

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
2007年3月31日残高	59,023	42,022	126,389	△ 15,310	212,125	34,504	246,629
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			3,705		3,705		3,705
当期純利益			18,129		18,129		18,129
自己株式の取得				91	91		91
自己株式の処分		3		22	25		25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						16,801	16,801
連結会計年度中の変動額合計	—	3	14,423	69	14,357	16,801	2,443
2008年3月31日残高	59,023	42,025	140,812	△ 15,380	226,482	17,703	244,185

京王電鉄(個別)財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2007年3月31日)	当 期 (2008年3月31日)
【 資 産 の 部 】		
流動資産	41,229	59,865
固定資産	501,449	503,404
資産合計	542,679	563,269
【 負 債 の 部 】		
流動負債	129,596	170,888
固定負債	221,595	211,757
特別法上の準備金	2,346	
負債合計	353,538	382,646
【 純 資 産 の 部 】		
株主資本	155,558	163,318
評価・換算差額等	33,581	17,304
純資産合計	189,140	180,623
負債純資産合計	542,679	563,269

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前 期 (2006年度)	当 期 (2007年度)
営業収益	120,931	119,463
営業費用	90,661	88,991
営業利益	30,270	30,472
営業外収益	1,363	1,556
営業外費用	7,714	5,778
経常利益	23,919	26,250
特別利益	4,290	3,943
特別損失	3,474	10,162
税引前当期純利益	24,736	20,031
法人税、住民税及び事業税	9,560	11,970
法人税等調整額	505	3,470
当期純利益	14,671	11,531

京王では、グループ理念である「信頼のトップブランド」を確立するために、鉄道事業において安全性の向上策をはじめ、バリアフリー化やお客サービス向上策、環境対策など、積極的に設備投資を進めています。これにより法令等において整備期限が定められている取り組みについては、期限内に整備を完了します。このページでは、鉄道事業における各種取り組みについてご紹介します。

2010年度までに 自動列車制御装置(ATC)を 導入し、さらなる安全性の 向上を図ります

国土交通省の「鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の一部を改正する省令」に基づき、自動列車制御装置(ATC)を京王線・井の頭線全線に導入します。

現在の信号システムである自動列車停止装置(ATS)では信号機の位置で速度をチェックしていますが、ATCは車両に搭載したコンピューターが、曲線などの状況に応じて、常に適切な速度で走行する



曲線を通る際には、定められた制限速度を超過しないよう、ATCが列車を制御します。

よう列車を制御するため、安全性がさらに高まります。

引き続き、地上装置の設置工事と列車を制御する装置を車両に搭載する改造工事を進め、2010年度までにATC化を完了します。



ATC化により、運転台の速度メーターには線路状況に応じた適正な速度が常に表示され(写真上の「0」表示)適正な速度を超過すると自動的にブレーキが作動します。

ATC化等に対応するため 経年の進んだ車両を 代替新造します

ATC化への対応のため、車両の改造を進めています。京王線6000系車両、井の頭線3000系車両については、新造車

両に代替し、ATC化に対応します。

また、井の頭線車両の代替新造により、全ての車両について運転士の体調が急変した場合などにハンドルから手が離れると、自動的に非常ブレーキが作動する「運転士異常時列車停止装置」の整備が完了し、さらに安全性が高まるほか、全ての車両が大型化され、輸送力が増強します。

このほか、バリアフリー化や省エネルギー化に対応した車両になることで、複合的な機能向上を図ります。



井の頭線 1000系車両(イメージ)



運転台のハンドルに装備されている「運転士異常時列車停止装置」

2010年度までに 駅の段差解消・車両の バリアフリー化を完了します

バリアフリー新法(1)における国の整備目標に基づき、原則として、2010年度までにエレベーターの設置などによる駅の段差解消を完了します。

地下通路構造などで既存の駅舎にエレベーターを設置することが困難な駅については、橋上駅舎化によりバリアフリー化を図るとともに、線路を横断する自由通路や商業スペースを備えるなど、駅機能の向上を図ります。



橋上駅舎化工事が完成した西永福駅

(1)高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律。1日当たりの平均利用者が5千人以上の鉄道駅については、2010年度までに全ての駅で段差を解消するとされています。

車両のバリアフリー化については、車両の新造・改造により、フルカラー液晶画面を用いた車内案内表示器やドアの開閉をお知らせするチャイムなどの整備を進め、2010年度までに全ての車両のバリアフリー化を完了します。



液晶画面を用いた車内案内表示器

2010年度までに 全ての車両の省エネルギー化を 完了します

地球温暖化対策として、車両の新造・改造により、エネルギー効率のよいVVVF

インバータ制御装置の整備を進め、2010年度までに全ての車両の省エネルギー化を完了します。

既存の車両と比べて約30%の消費電力削減が期待できます。

街の機能向上に貢献するため、 2012年度の完成を目指して 調布駅付近連続立体交差事業を 推進します

2012年度の完成を目指し、調布駅付近連続立体交差事業を進めています。

事業の完成により、18ヶ所の踏切がなくなり、安全性向上や周辺の交通渋滞解消が図られるとともに、鉄道により分断されていた市街地が一体化するなど、街の機能向上に貢献します。

京王線笹塚以西の 鉄道立体化の実現に向けて

新規着工準備路線として国土交通省に採択された京王線代田橋駅～八幡山駅付近連続立体交差事業について、東京都など関係機関と連携して調査設計を着実に進めるなど、早期事業着手を目指します。

京王グループ

CSR活動について

高尾の森再生の取り組み

社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」に協賛し、高尾山一帯の植樹に協力しています

京王グループでは、日本山岳会「高尾の森づくりの会」が、高尾山一帯の国有林で行っている植林活動の趣旨に賛同し、2002年の「第2回植樹祭」から継続的な支援を行ってきました。

本年4月13日に開催された「第8回植樹祭」では、ヤマザクラ、ケヤキ、モミジなど30種の落葉広葉樹の苗木 約1,500本を提供し、京王グループの社員も植樹に参加しました。

これからも京王グループでは地域に根ざした社会活動・環境保全に努めてまいります。



より詳しいIR情報はこちら

当社ホームページでは、投資家の皆様に役立つ情報を「IR・企業情報」のコーナーに掲載しておりますのであわせてご覧ください。

www.keio.co.jp/

クリック!



会社情報

グループ理念や事業内容から、京王電鉄50年史まで、企業としての京王電鉄情報をご覧ください。

投資家情報

株主・投資家の皆様へ、インベスターズガイドや決算短信、株主優待制度情報をご覧ください。

社会・環境活動

京王グループが取り組んでいる社会貢献・環境活動についてご覧いただけます。

会社概要・役員一覧・株式の状況

会社概要

会社設立 1948年6月1日
 本社所在地 〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1
 資本金 590億23百万円
 従業員数 2,301名
 (2008年3月31日現在)

役員一覧

代表取締役社長	加藤 隼
代表取締役専務	下村 良太
常務取締役	松木 謙吉
常務取締役	田中 茂生
常務取締役	永田 正
取締役	宮地 徳文
取締役	狩野 俊昭
取締役	川杉 範秋
取締役	早崎 博
取締役	石橋 三洋
取締役	島倉 秀市
取締役	内藤 雅浩
取締役	林 静男
取締役	五味 保雄
取締役	志村 康洋
取締役	山本 敏雄
取締役	鈴木 康
取締役	春山 暁
常勤監査役	鈴木 豊明
常勤監査役	黒岩 法夫
監査役	久米 信介
監査役	鈴木 光春

(2008年6月27日現在)

株式の状況

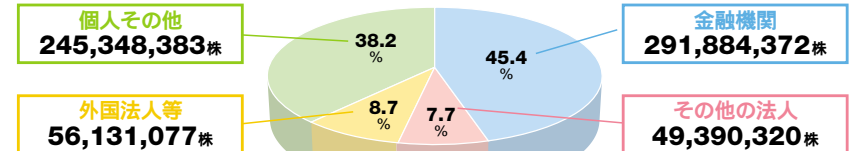
(2008年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,580,230,000株 株主数 40,019名(前期末比2,852名増)
 発行済株式総数 642,754,152株
 大株主

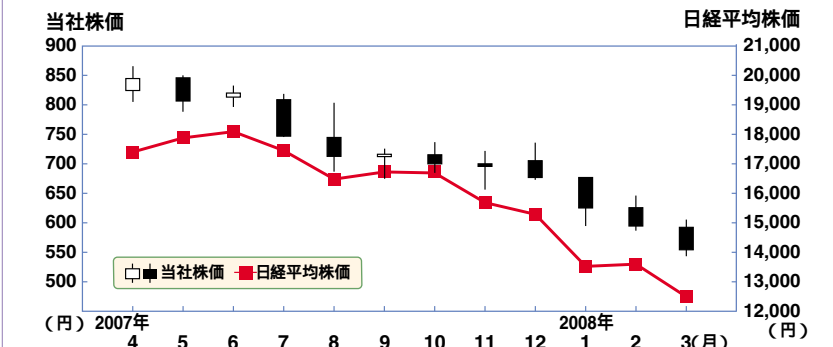
株主名	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本生命保険相互会社	44,948	6.99
第一生命保険相互会社	31,750	4.94
太陽生命保険株式会社	29,310	4.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,467	3.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,984	3.42

当社は自己株式を25,203千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております

株主別所有株式の概況

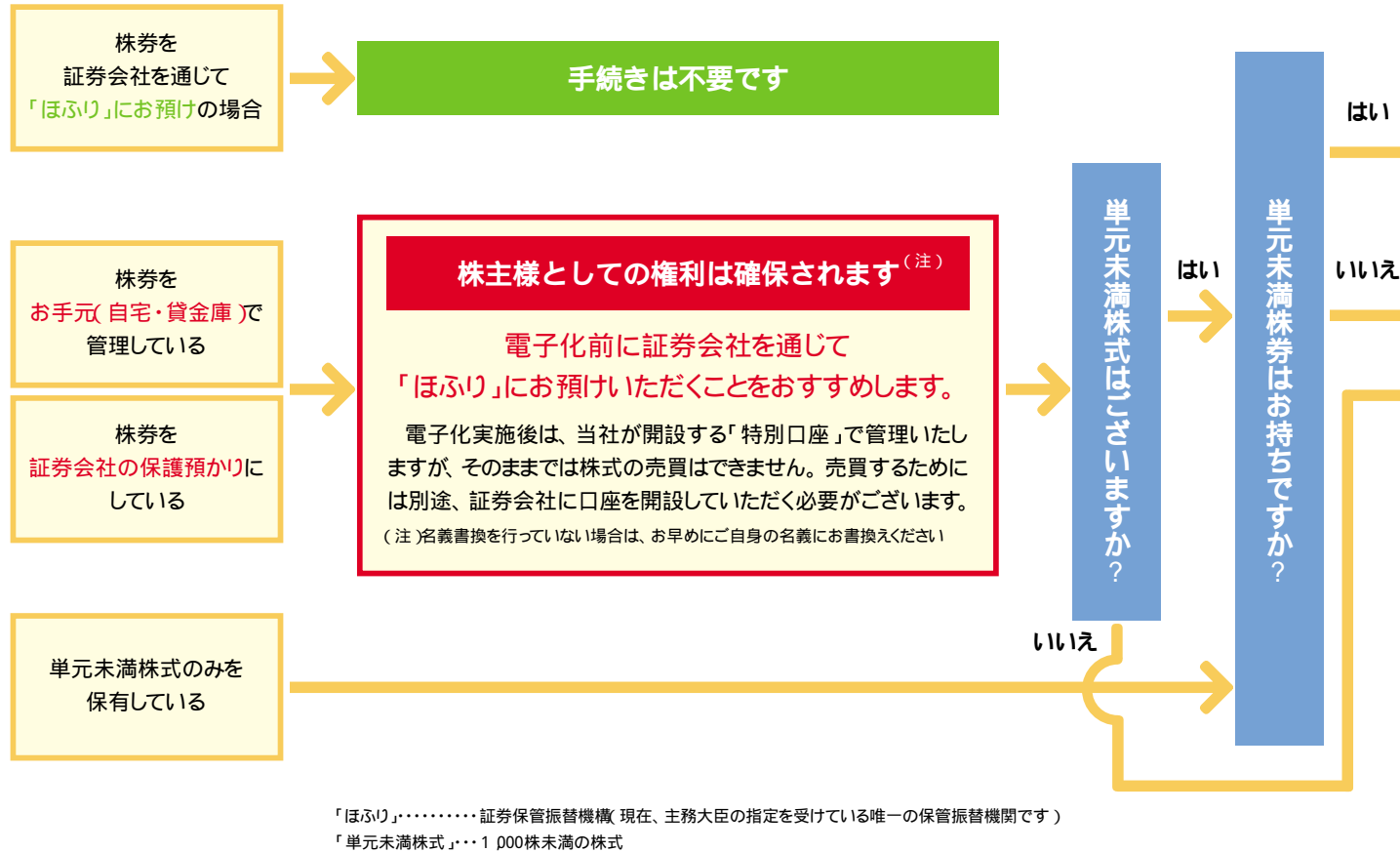


株価の推移



株券の電子化が2009年1月に実施される予定です

上場会社の株券が、2009年1月から一斉に電子化されます。株券自体は無効となりますが、株主様としての権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。現在の株式の保有形態をご確認いただき、下記ご案内に基づき、必要な場合はお手続きくださいようお願いいたします。



「株券の電子化」に関するお問合せ・情報は

日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター(証券受渡・決済制度改革懇談会事務局)
☎03-3667-4500 ホームページ www.kessaicenter.com/

この機会に単元未満株式を整理されてはいかがでしょうか?

単元未満株式の買取り

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例 現在ご所有の当社株式が5,500株(5単元+単元未満)の場合

500株を買取り → 5,000株(5単元)に

単元未満株式の買増し

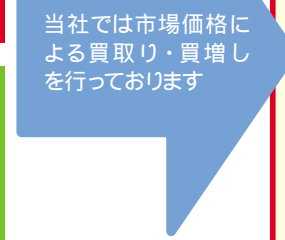
株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるような株式を、当社が市場価格にて株主様に売却いたします。

例 現在ご所有の当社株式が2,800株(2単元+単元未満)の場合

200株を買増し → 3,000株(3単元)に

単元未満株式の買取・買増請求は「特別口座」でも行うことができます

電子化前に証券会社を通じて「ほふり」にお預けいただくことをおすすめします



当社では市場価格による買取り・買増しを行っております

手続きは不要です

配当金のお受取りは便利で安心な「口座振込」をご利用ください。

当社では、配当金のお受取りについて、ゆうちょ銀行や郵便局にて現金でお受取りになる方法のほかに、ご指定の銀行口座、または、ゆうちょ銀行貯金口座への振込サービスを行っております。「口座振込」をご利用になると、ゆうちょ銀行や郵便局窓口で「配当金領収証」と現金を引き換える必要がなくなります。このため、配当金お受取りのお忘れや「配当金領収証」紛失といったご心配もなくなります。お申込み、詳しいお手続き方法は住友信託銀行証券代行部までお問合せください。

配当金の口座振込・単元未満株式の買取・買増制度に関するお問合せは

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行証券代行部
☎0120-176-417

株主優待制度のご案内

京王の株主優待制度

1,000株以上の全株主様に電車全線優待乗車券とグループ会社優待割引券をお送りします。

優待内容

株主優待乗車証 ご所有株式数	1枚1乗車有効の 電車全線優待乗車券	優待バス
1,000株以上 30,000株未満	1,000株につき4枚 (年間8枚)	—
30,000株以上 57,000株未満	30枚(年間60枚)	電車全線優待バス 1枚
57,000株以上	40枚(年間80枚)	電車・バス全線優待バス 1枚



京王電鉄バス、京王バス東、京王バス中央、京王バス南、京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。
なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バス、多摩バスではご利用いただけません。

株主優待についてのお問合せ

京王電鉄 法務部法務担当

☎042-337-3114

年2回
発行

3月31日現在の株主の皆様

5月末送付
有効期間6月～11月

9月30日現在の株主の皆様

11月末送付
有効期間12月～翌年5月

株式購入の際はお近くの証券会社まで

[株主優待のポイント]

その1 電車全線優待乗車券

1,000株 最小流通単位から
株主優待をご利用いただけます。

1,000株 買い増すごとに
乗車券が4枚増えます。



その2 優待バス

半年の有効期間内、何度でもご乗車いただけます。
優待バスご持参の方は、株主様以外の方でもご利用いただけます。
さらに乗車券も発行いたします。

3万株以上
電車全線優待バス
+
乗車券30枚(年間60枚)

5万7千株以上
電車バス全線優待バス
+
乗車券40枚(年間80枚)

株主優待 Q&A

Q 電車全線優待乗車券や優待バスは、株主以外、例えば家族なども利用できますか？

A 「電車全線優待乗車券」や「優待バス」は共に利用者を限定しておりません。

切符方式の「全線優待乗車券」は、ご家族やご友人と一緒に出かけになる際などに、分けてご利用いただくことができます。また、定期券方式の「優待バス」はバスをお持ちいただいた1名様にご利用になれます。普段は通勤や通学に、休日はご家族が買い物でお出かけの際などにご利用いただけます。

Q グループ会社優待割引券は、割引券自体を冊子から切り離して利用することができますか？

A 割引券を個々に切り離しても、優待をご利用いただけます。

グループ会社優待割引券は、例えばご家族やご友人がそれぞれ優待をご利用になる際に、冊子から割引券を切り離してグループ会社の各店舗へお持ちいただいてもご利用になれます。

[株主優待割引施設紹介]

京王食品

株主優待の
ご利用で

店頭商品 **10%割引**
(税込1,000円以上お買い上げにつき)

京王食品は、京王線・井の頭線沿線に「ベーカリーショップルパ」「BAKERY&CAFEルパ」を展開し、店内で焼き上げるパンと手づくりサンドイッチを“手軽に”“便利に”“楽しく”お買い求めいただけるよう、スタッフ一同心を込めて製造し、明るい笑顔とサービスで皆様をお迎えいたします。

株主の皆様には、1,000円以上お買い上げいただく際に、優待割引をご利用いただくことで10%の割引をいたします。

多くの店舗では、店内にイートインスペースもご用意しております。ぜひお気軽にご利用ください。

Boulangerie Le repas 千歳烏山店 オープン



本年3月に京王線千歳烏山駅そばに「ブーランジェリールパ千歳烏山店」がオープンしました。
フランス産小麦を使用したフランスパンやこだわりのハムやチーズをはさんだサンドイッチなど、ワンランク上の商品をご用意してご来店をお待ちしております。